

市場営業統括部 チーフ・エコノミスト 山下えつ子  
電話 03-3282-5879

## 来週のポイント

### ドル/円： 円高

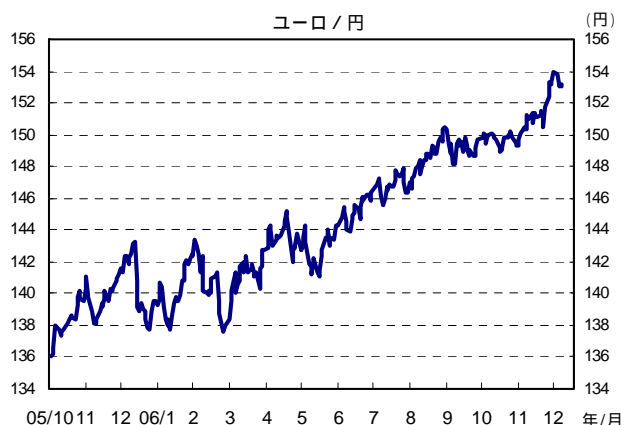
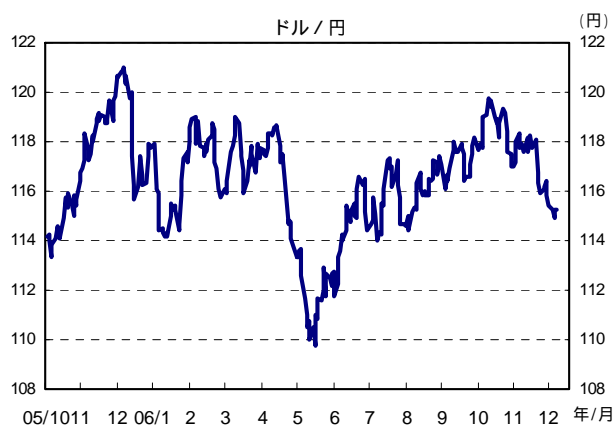
	週末 13:00	次週発行まで	3ヵ月後
ドル/円	115.23円	114.00-116.00円	110.00-120.00円

- ・ 日本の年内利上げ観測の盛り上がりから円高へ。
- ・ FOMC声明文には引き締めバイアスが残り、Fedのスタンスはドル安を後押ししない。

### ユーロ/円： ユーロ上昇一服

	週末 13:00	次週発行まで	3ヵ月後
ユーロ/円	153.10円	152.00-153.50円	145.00-155.00円
ユーロ/ドル	1.3286ドル	1.3200-1.3350ドル	1.2500-1.4000ドル

- ・ 12月のECB理事会が終了し、年内に大きなイベントなく、ユーロ急上昇は一服。



(本レポートは本日 13:00 までの情報を元に作成しています)

## 足元のマーケット動向、及び来週の見通し

(今週のレンジは先週金曜日 13:00 ~ 本日 13:00、予想レンジは本日 13:00 ~ 来週金曜日 13:00)

### ドル / 円

#### 今週の動向

今週のレンジ  
114.43-116.38 円

1日には米製造業ISMが50割れとなったことを受け、ドル円は116円台前半から115円を一瞬割り込む水準まで急落。一旦115円台半ばへ持ち直した後、5日の水野日銀審議委員の講演で利上げ観測が高まり114.43円まで円高進行。その後は金曜日の米雇用統計を前に115円を挟んで揉み合い。

#### 来週の見通し (本日の海外も含む)

来週の予想レンジ  
114.00-116.00 円

円にも動きが出てきた。今週は日銀の水野審議委員と西村審議委員が講演を行い、年内利上げの可能性もある、と市場は意識し始めたようだ。経済指標は依然として7-9月期GDP2次速報での下方修正など弱めのデータが交じるが、円金利は年内利上げを警戒して上昇基調(10年債利回りも1.70%超)。懸念された日本株も外国人投資家が3週連続で買い越すなど、環境は悪くない。来週15日の日銀短観が最後の詰めとなって利上げ実施という展開となる可能性が実際に高いと思うが、来週はそれを前にして円高進行の年内最後の盛り上がりの時間帯となりそうだ。

米国では、製造業ISMが予想外に50割れとなり、利下げ観測は一層高まる展開(FFedターゲットレート5.25%に対して2年債利回りは4.58%、10年債利回りは4.49%(7日))。加えて、ポールソン財務長官とバーナンキFRB議長の訪中(14・15日)がドル安の思惑を煽るだろう(結果的には何もないと思われるが)。ただし、来週は基本的にドル安円高を予想するが、12日のFOMCでは声明文に引き締めバイアスが掛けられたままとすると予想され、Fedのスタンスがドル売りを後押しすることはなからう。

### ユーロ / 円

#### 今週の動向

今週のレンジ  
1.3220-1.3370 ユロ  
152.45-154.18 円

今週はユーロドルは1.3350を大きく超えることなく推移。ユーロ円は4日に154.18円の最高値を付けたがその後は円高となり、153円前後で揉み合い。7日のECB理事会では今後の利上げ継続も示唆されたものの、相場の反応は限定的だった。

#### 来週の見通し (本日の海外も含む)

来週の予想レンジ  
1.3200-1.3350 ユロ  
152.00-153.50 円

ECB理事会では利上げが実施されて政策金利は3.50%へ引き上げられた。注目されたトリシェ総裁の記者会見では、「利上げ後も金利水準は低く、金融政策は緩和的(accommodative)」との認識が継続されたうえ、「インフレリスクに関わる動向を非常に注意深く監視する(monitor very closely)」との定型文言も残された。また同時に公表されたECBスタッフ見通しでは、原油相場下落とユーロ高を背景に2007年のHICPは1.5%~2.5%と9月見通しよりも下方修正されたが、2008年は1.3%~2.5%と予想レンジ上限は依然として2%超となっている。しかしQ&Aでは「(monitor very closelyの文言が使われたからといって)2月の利上げを予想するのは誤った解釈」との発言があり、2007年も利上げが継続される可能性は高いものの、これまでのような2ヵ月毎、3ヵ月毎の定期的な利上げではないことも示唆された。

これで12月のECB理事会という年内のイベントも終わり、今後は1月からのドイツVAT引上げや米国の景気減速の影響がどの程度生じるかを見極めつつ追加利上げの時期や幅を計っていくといった展開に移ると思われ、ユーロ急上昇の局面は一旦終了したと見る。来週はユーロドルは揉み合い、ユーロ円は円高。